

# 令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

令和7年5月28日

学校法人 興國学園

興 國 高 等 学 校

(1) コース概略とカリキュラム（教育課程）について 平成 28 年度～

①平成 28 年度

- ・新入生募集人数の増員（460 名から 505 名）  
スーパーアドバンスクラスと IT ビジネス科で募集人数を増員しました。

②平成 29 年度

- ・新入生募集人数の変更 計 500 名  
スーパーアドバンスクラス (SAD) 40 名 / アドバンスコース (AD) 40 名  
アスリートアドバンスコース (AA) 120 名 / キャリアトライコース (CT) 40 名  
進学アカデミアコース (AC) 140 名 / IT ビジネス科 (IT) 120 名
- ・新アリーナの完成とグラウンドの整備の完了により、本校の設備更新が一段落しました。
- ・進学アカデミアコース開設  
従来の進学スタンダードコースを廃止し、『進学アカデミアコース』を新設致しました。その概要は、学習到達度や特別活動、進路の目標設定などで 3 タイプを選択でき、1 年次より自分にあった学習スタイルや課外活動に取り組めるようにしました。

③平成 30 年度

- ・新入生募集人数の変更 計 590 名  
SAD 70 名 / AD 40 名 / AA 160 名 / CT 40 名 / AC 160 名 / IT 120 名 と、募集人数を大幅に増員致しました。

④令和 4 年度

- ・コース改編による各コース募集人数の変更と学則定員（2,280 名から 2,400 名）の変更  
SAD 70 名 / PAD I・PAD II 80 名 / AA 140 名 / AC 140 名 / CT 40 名 / IT 120 名
- ・SAD と同様に、8 時間授業と豊富な補習等を展開し難関大学を目指す PAD I と、SAD の授業を 6 時間に凝縮し、クラブ活動にも参加できる PAD II を新設しました。
- ・進学アカデミアコースをアカデミアコースに改編。モーニングアワーや土曜日のオンライン授業などの新しい取り組みを始めます。

⑤令和 5 年度

- ・令和 6 年度入試に向けてコースの改編を進めました。スーパーアドバンスを、2 年次より 2 タイプのクラスに分けます。メディカル・サイエンス・エンジニアリング分野で活躍する人材の育成を目指し、自然科学（数・理）分野に重きを置いたカリキュラムで探究活動や理論的理解を進める [ナレッジサイエンスクラス] と文系理系にとらわれず新しい時代を創造できる男子を育成することを目的に、文系全般から情報分野やバイオテクノロジーをはじめとした文理融合分野などの幅広い進路で自己実現に対応する [ダ・ヴィンチクラス] に分けて指導する計画を立てました。また、プレミアムアドバンス I 類と II 類を融合させ、新たにプレミアムアドバンスとして改編しました。これまで培った授業の指導力を 6 時間の授業に凝縮すると共に、課外活動や探究学習に注力することで難関大学進学を実現いたします。

## ⑥令和 6 年度

・スーパーアドバンスでは東大・京大等への難関大学へ多数の合格者を輩出し、コース改編による進路実績向上に受験生や保護者、さらに教育関係者の期待も高まりました。結果、スーパーアドバンス [ナレジサイエンスクラス] [ダ・ヴィンチクラス] とともに多くの受験生が集まりました。また、プレミアムアドバンスは英語学習に注力するとともに、放課後のクラブ活動や KOKOKU 寺子屋の充実により、新たな学びのスタイルを築いています。

## (2) 教育内容充実のための教育計画の推進

①例年どおり、1 学期には授業見学を実施いたしました。全教員が自教科および他教科の授業を見学し、各教科会議において問題点を考察し討議を重ねた上で報告書を作成しました。さらに、1 学期末には「先生たちの通信簿」を実施し、生徒からの授業評価を分析しました。問題点や改善点を各教員が把握し、報告書を作成することで授業内容の改善に取り組みました。

2 学期には各教科にて「探究型授業の実践に向けた研究授業」を実施し、今後の指導に向けて学年、コースの特性に応じた授業内容を検討し、情報交換を行いました。

また、放課後活動の充実のため、「KOKOKU 寺子屋」にて生徒のニーズに対応した様々な講座を展開しました。令和 6 年度は 5 つの道場、計 29 講座を開講しました。《がつつり学びや道場》では、プレミアムアドバンスコースⅡ類の生徒を対象に大学受験に向けた「大学入試対策&模試対策講座」を実施したほか、国語・数学・英語の学力向上のために、1 年生を対象に「大学入試スタート UP&検定対策講座」を、2 年生対象に「大学入試対策&模試対策講座」を、3 年生対象に「大学入試対策成績 UP 講座」を実施いたしました。

さらに、《グローバルコミュニケーション道場》には、ネイティブ教員によるアクティブラーニングを通じて英語力が身に付く講座「Mr.Dan のイングリッシュ・カフェ」を継続して開講しています。また、充実した設備であるアリーナ・トレーニングジム・グラウンドを活用し、《パーソナル・トレーニング道場》として、「KOKOKU 流マッスルファクトリー」および「エンジョイフットサル」を開講し、運動部に所属していない生徒にも体力づくりに取り組める環境を整えています。

②生徒の望ましい進路選択と志望の実現を目指し、本年度も次のような施策・対策を講じています。新 2 年生のクラス分けに伴い、年度当初の 4 月に「第 2 学年 保護者オリエンテーション」を実施しました。全体会では、進路については本校特別教育顧問の恩知忠司先生に講演を依頼し、進路講話を実施しました。引き続き、コース別ガイダンスおよびクラス懇談という流れで保護者の方々に今必要な心構えや今後の流れを説明し、理解を深めていただきました。3 年生対象に、自分の進路を発見する手立てとして「大学別ガイダンス」を主要 10 数大学の入試部の関係者を招聘して、大学で学ぶことの基本的な知識と指導をしていただきました。2 学年より就職希望生徒に向けて、面接試験や学科試験の対策講座である『キャリアガイダンス』を実施しています。この講座は、就職試験本番まで定期的の開講し、個別面談や対策授業・テストなどを実施して、就職内定 100% を達成するように取り組んでいます。全コースとも年間を通じて、授業終了後の補習や「夏期・冬期・春期」休暇中に集中講座を実施しました。本年度は各コースにおいて休暇中に勉強合宿を実施し、大いに効果を上げることができました。

③スーパーアドバンスクラスの理系科目を重視したカリキュラムにより、本年度も国公立大学や難関私立大学への合格者が大幅に増加し、その中でも東京大学や京都大学・大阪大学・神戸大学といった難

関校に複数の合格者を輩出することができました。8 時間授業後の補習や休暇中の特別授業など綿密で重厚なカリキュラムで成績の向上を図りました。また、国公立大学をはじめとする各大学の受験方式を徹底して研究し、生徒の希望進路を実現しました。結果として、本年度は東京大学に 1 名・京都大学に 4 名・大阪大学へ 2 名・神戸大学へ 8 名など、多数の国公立大学へ複数名合格することができました。また、医学部医学科においては国公立大で和歌山県立医科大学に 1 名、旭川医科大学に 1 名合格し、計 2 名が現役で合格いたしました。

#### ④アスリートアドバンスコース（AA コース）の取り組みについて。

今年度も 1 名のプロサッカー選手が誕生しました。アドバンスコースと連携した大学進学指導により、スポーツ推薦だけでなく、公募制推薦・一般入試でも国公立大学や上位私大に合格しました。特に今年はサッカー部から慶應義塾大学に 2 名の合格者を輩出しました。AA コースは大変人気が高く、6 クラスで編成しています。理系カリキュラムと文系カリキュラムのクラスに分けて授業を展開しています。また、アスリートプログラムに特化した **Groeien**(グロイエン)クラスを設置し、アスリートの資質を高めています。全てのクラスで難易度は違えども学習に力を入れ、究極の文武両道を目指しています。

AA 独自の行事として、1 年次に広島県のしまなみ海道で「AA トライアスロン」に臨み、2 年次にはサッカー部がスペイン研修旅行を実施しました。

卒業生の活躍も目まぐるしく、明治大学の浅利太門がドラフト 3 位で北海道日本ハムファイターズに指名されました。またサッカーでは日本 A 代表に南野拓実・古橋亨梧・瀬古歩夢の 3 名が選出され活躍しております。

#### ◎令和 6 年度クラブ活動の実績◎

- ・サッカー部 インターハイ初出場 **ECLOGA2024 優勝**  
松岡敏也 U18 日本代表選出 樺山文代志 U17 日本代表選出
- ・硬式野球部 春季近畿地区高校野球大会決勝進出（45 年ぶり）
- ・軟式野球部 全国軟式野球選手権出場 国民スポーツ大会第 3 位
- ・バレーボール部 全国私学バレーボール大会出場
- ・ボクシング部 インターハイ 3 連覇  
藤木勇我 U19 World Boxing Championships Colorado 2024 60KG 級優勝
- ・ラグビー部 全国選抜大会出場

#### ⑤アカデミアコース（AC コース）では基礎学力向上のため、朝の学習時間に英単語テストを実施し、自律学習と学習意欲の伸長を進めました。この取り組みは、全学年とコースで継続実施されており、進路決定への大きな力の一翼を担う取り組みとして発展させております。3 年生の進路実績としましては高大連携協定事業として桃山学院大学や大阪商業大学への進学者を多数輩出いたしました。

2 年生は海外研修旅行先をグアムに変更し、現地でのブラザー&シスタープログラムや文化交流学習を体験し、グローバルな視点での探究学習を実施しました。また 1 年生の宿泊研修においては「探究型宿泊研修」のコンセプトのもと、淡路島にて循環型共創社会の実現を目指すパソナグループの株式会社タネノチカラにご協力をいただき、「縄文実践プロジェクト」と題し実践的な学びを得ることができました。

当コースでは、刷新されたカリキュラムにより「リーダーシップ（責任感）」「フレンドシップ（協調性）」「パートナーシップ（社会性・モラル・マナー）」を学びの柱として、ICT 教育の一環で導入さ

れた“Classi”を活用して、家庭学習や家庭との通信（緊急時含む）などを実現しています。また、生徒全員が iPad を所持し、土曜日はテレスタディとしてオンラインでの特別活動を実施し、多様な学びを展開しました。また、週 2 日のモーニングアワーの実施は、生徒たちにも非常に好評であり、リフレッシュした形で日々の学習に取り組めております。

⑥キャリアトライ公務員コース（C T 公コース）の自衛隊体験入隊については、前年度に引き続き、大阪地方協力本部様及び陸上自衛隊大津駐屯地様、今津駐屯地様のご尽力により本年度も実施することができました。11月27日に陸上自衛隊大津駐屯地を訪問し、2泊3日の行程で基本教練や自衛隊体操・5種類のほふく前進・格闘訓練や駐屯地での生活など本物の自衛隊を体験させて頂きました。また最終日には陸上自衛隊今津駐屯地にて16式戦闘車(MCV)や偵察用オートバイなど日常では目にすることのできないものまでを見学することができました。他校では体験できない経験を通して、公務員という仕事の重責を感じ取ることが出来た有意義な体験入隊でした。

⑦IT ビジネス科（I T B 科）での進路実績について、「IT アドバンスコース（ITA コース）」においては上位大学への合格者を多数輩出するレベルとなっており、令和6年度卒業生は大阪公立大学や関西大学をはじめとして、9割以上の生徒が4年制大学への進学を果たしました。これを継続発展させるため、7限目までの通常授業に加えて長期休暇中の講習では90分間の授業を習熟度別にて展開しています。それにより、大学受験対策だけではなく、資格取得の対策も万全となっています。

一方、「ゲーム&デジタルワークスコース（ITG コース）」でも4年制大学への進学者数が増加し、IT アドバンスコース同様に補習等が実施されています。また、このコースでは「情報学部」や「工学部」へのニーズが高まっており、進路実現のために「ゲーム制作」に関する本格的なプログラミングなどを学ぶという目標の下、2年生の選択授業で大阪工業大学や大阪電気通信大学との高大連携授業を実施しています。本格的なプログラミングおよびアート制作を学んでおり、その成果に期待を寄せています。また、今年度は両コースともに夏期と冬期に勉強合宿を行い、学力の向上を図りました。

### （3）生徒指導の充実と多様な対応

- ①「生活指導の手引き」における内規について、細部にわたって抜本的に精査しました。
- ②携帯電話の使用を放課後（各クラスの終礼後）に限って認め、ルールを遵守させながら携帯電話を使用させ、また違反行為があった場合は指導を徹底しました。
- ③遅刻した生徒には放課後に学習課題を与えると共に、早朝登校を促しながら担任だけでなく、生徒指導部全体で指導を行いました。
- ④地域貢献のため、各クラスの代表生徒が教員と共に、「クリーン大作戦」と称した周辺地域の清掃活動を実施いたしました。
- ⑤人権カウンセリングより

不登校生徒や集団生活に馴染みにくいといった悩みを持つ生徒に対して、カウンセリングルームにスクールコンシェルジュ（中学校の校長経験者）を複数名配置しています。長期休暇中における集中指導の対象生徒の個別指導だけではなく、保護者が相談できる組織を校内に設置しています。また、校外における「ものづくり体験」や「協働学習」を通して、進級・卒業への契機となるプロジェクトを準備しています。

#### (4) 授業改善への取組

- ①授業改善のため、全教科の担当者に対する生徒からのアンケート（「先生たちの通信簿」）を1学期末に実施して、自己点検すると同時に教科としての改善すべき取り組みを明確にしました。
- ②授業の質を高めるために、習熟度別授業やチーム・ティーチング（複数担任授業）を充実させました。  
（例）国語・数学・英語・簿記会計・情報・書道 等
- ③1学期に授業見学期間を設けて、教員のレポートを通して反省点や改善点を明確にするとともに、2学期には研究授業を実施し、各教科における授業のあり方を追求しました。（教科内・教科外の授業も見学・検討することとしました）
- ④充実した授業を展開するために、全教員で授業中の校内巡回を分担し、年間を通して実施しました。
- ⑤各教科で現在のカリキュラムやシラバスを検討して問題点や改善点を抽出し、よりよい授業・分かりやすい授業が展開できるように取り組みました。

#### (5) 国際理解教育の推進

##### ①夏期休暇期間中の短期海外研修について（7月実施）

物価高をはじめとした世界経済情勢の変化により、海外への留学・研修の計画は困難な状況が続いていましたが、令和6年度はオーストラリア・ブリスベンへの夏期短期語学研修を実施いたしました。現地の語学学校と語学学習プログラムを組み、7月10日～7月23日までの14日間、現地の家庭に滞在しながら、オーストラリアの人々の生活や自然に触れる多様なアクティビティを通して、異文化を体験しました。英検取得級を基にした英語力に応じて「初級」・「中級」・「上級」3つのクラスを用意し、初級クラスではホームステイや買い物の場面で使うような「実践的英会話」を学びました。中級クラスでは、オーストラリアの文化や動物たちに関するプレゼンテーションを加え、上級クラスではグループワークやディスカッションを中心に総合的に語学力アップを図りました。3コースともに現地の教員とともに学習をすすめ、日本の環境とは異なる経験ができました。また、現地の大学生（Griffith University）がプログラムアシスタントとして本校生徒たちと行動を共にする機会を設け、オーストラリアの大学生活も体験できました。

##### ②授業・寺子屋等で、「weblio（ウェブリオ） オンライン英会話」を利用し、フィリピンの講師と英会話を行うことで、英語検定試験合格に向けた学習に取り組み、語学力とともに国際感覚の向上につとめました。

##### ③6月3日～6月21日の約3週間の間、スウェーデンから教育課程を履修しているインターンシップ生を3名受け入れました。この期間、インターンシップ生たちはそれぞれ英語の授業を担当し、本校の教員とともに授業や補助業務を行いました。また、校外学習などの課外活動にも帯同し、生徒たちにとって、言語学習・異文化交流の機会となりました。また、9月にはスウェーデンから12名の教員志望の大学生が本校の見学に訪れ、生徒たちと交流の機会を得ました。本校生徒たちは、学校や日本文化についてのプレゼンテーションをし、生徒たちのアテンドで学校案内を行いました。茶話会では和菓子を振る舞い、和やかな雰囲気、異文化について学ぶ貴重な経験となりました。

##### ④吹田市・堺市・ウクライナ学生支援会（JSUS）と連携し、ウクライナ情勢により発生した避難民を2名受け入れました。キエフとリヴィウから単身でやってきた2名は、日本の高校での生活を通じて、言語学習や異文化交流だけではなく、世界平和について考えるきっかけも与えてくれました。

##### ⑤サッカー部では、毎年スペインのバルセロナでサッカークリニックや交流試合ができると好評を得ており、チームの一部はフランス・リヨン、マルセイユ、トゥールーズで試合観戦や交流試合を実施しました。

⑥海外から本校への留学についての問い合わせも多くなり、アフリカのケニア・トンガ・中国・台湾からの長期留学生を受け入れました。また、彼らは陸上競技・ラグビー・サッカーなどのクラブ活動に参加し、日本語の学習にも勤しみました。

#### (6) 施設面の充実

①新西館改築工事（平成 27 年 12 月竣工済 翌年 1 月供用開始）

②北館（体育館）解体工事に着手・完了（平成 28 年 3 月より）

③クラブ棟（東側）解体工事（平成 29 年 1～2 月）

④新アリーナ（体育館）竣工（平成 29 年 6 月）

⑤南館 1 階改装工事に着手（平成 29 年 12 月）

\*サイエンス・ラボ（理科実験室）

\*クッキングスタジオ（調理実習室）

\*特別教室

以上の 3 教室を新設いたしました。

⑥南館新設工事着工（令和 7 年 3 月）

☆新アリーナの完成とグラウンドの整備工事が完工し、各種行事を催行しました。

1. 平成 29 年 6 月 1 日 グラウンド修祓式（本校グラウンド）
2. " 6 月 7 日 90 周年記念式典・アリーナ竣工式（本校アリーナ）
3. " 6 月 22 日 台湾東海大学講演会（陳 中漢教授）
4. " 6 月 24 日 アリーナ落成記念「バレーボール落成記念試合」  
（V リーグ：堺ブレイザーズ VS パナソニックパンサーズ）
5. " 6 月 26 日 「天遊」大阪市小学校連合会主催講演会（講演者：草島葉子校長）
6. " 7 月 15 日 90 周年記念講演会『得手に帆を揚げて』（講演者：数学者 秋山 仁氏）
7. " 8 月 6 日 高体連サッカー大阪大会“開会式”（参加 251 校 男女共約 1500 名）
8. " 8 月 28 日 中体連サッカー総会・抽選会（中学校顧問 約 450 名出席）
9. " 9 月 9 日 大阪エヴェッサドリームクリニック
10. " 10 月 14 日 柔道実技講習会（新柔道場柿落とし）
11. " 10 月 23 日 AA コーストップアスリート講話（ラグビー元日本代表 野澤武史氏）
12. " 10 月 28 日 大阪南ロータリークラブ主催「福祉チャリティーコンサート」
13. " 11 月 26 日 天王寺バレーボール連盟主催「秋季大会」（9 人制 18 チーム）
14. " 12 月 1 日 天王寺区役所主催「区内 3 中学校合同サッカー講習会」  
（セレッソ大阪コーチによる実技指導）
15. " 12 月 17 日 天王寺区吹奏楽フェスタ（区内の中学校・高校の吹奏楽部が出演）
16. 平成 30 年 2 月 28 日 進路ガイダンス（2 年）〔講師：近畿大学入試広報課長 屋木清孝氏〕
17. 令和 元年 5 月 8 日 「令和の集い」（改元に伴い、平成の時代を振り返り、令和の時代に向けての決意を新たにしました）
18. " 5 月 20 日 「NASA 特別講演会実施」（講演者：ジョン・A・マクブライド氏、対象：第 1 学年全生徒（766 人）・第 2、3 学年 SAD、AD、AAA、ITA（364 人）・天王寺中学校生徒（約 150 人））
19. " 11 月 15 日 「第 66 回近畿算数・数学教育研究大阪大会（全大会）」開催
20. 令和 4 年 5 月 14 日 大阪南ロータリークラブ主催「福祉サッカーイベント」開催
21. 令和 4 年 6 月 25 日 「陸上自衛隊中部方面隊音楽会」開催
22. 令和 5 年 8 月 8 日 「第 67 回全国特別活動研究協議大会」開催

※その他、入学式・卒業式、始業式・終業式並びに ONLY 一 祈念日等の式典で、アリーナを活用しております。

#### (7) 入学生徒数の安定的確保への取り組み

令和7年度の入試は定員（590名）を大きく上回る1389名（専願858名・併願531名）が志願し、897名の入学者を受け入れました。また、下記のような入試広報に関わる活動を実践しました。

- ① 全教員で大阪府下を中心に約500校の中学校を年2回（夏・冬）訪問し、本校の独自の取り組みと入試における特徴的な要項の広報に努めました。
- ② 7月に中学校の教員対象の学校説明会を開催し、各コースの内容とその学びの特色やカリキュラムを中心に、より一層の理解を深める工夫を凝らしました。また、魅力あるクラブ活動を紹介するため、成果を生み出しているクラブ指導者と活躍するクラブ生を紹介し、生徒の募集のための方策を打ち出しました。
- ③ 9月に学習塾対象の学校説明会を開催しました。併せて全教員で学習塾を訪問し、地域別にきめ細やかな訪問ができるよう取り組みました。
- ④ 中学生と保護者対象の学校説明会及び個別相談会やオープンスクールを計8回開催しました。夏期休暇中に KOKOKU 夏祭を、11月に KOKOKU 体験フェスティバルを実施し、本校の生徒たちとの関わりの中で本校の魅力を伝えました。これに加えて、保護者や中学生からの進路相談に応える場として「個別面談会」を計3回実施しました。またはじめての試みとして「ADコース特化型説明会」を実施いたしました。
- ⑤ 本校の教員とサポート生徒が中学校へ出向き、難関大学入試対策講座・パソコン講座・公務員試験対策講座・スポーツ関連の授業を体験してもらう「出前授業」や学校長と渉外部長が中学校の「特別活動」等の時間を利用して、「進路講話」や「面接講座」を進路保障の一環として繰り広げました。また、中学生が来校して、高校生活を実体験する高校体験留学も定着しています。本校の教育設備や内容の充実度を体験することによって、受験者数や入学生の確保に繋がっていると考えられます。
- ⑥ その他、渉外関連のアイテム（学校案内パンフレット・KOKOKU TIMES・学校紹介ビデオ等）を作成しました。より魅力的な広報活動を展開できるように努力しています。

#### (8) クラブ活動・生徒会活動の活性化

##### ① インターアクトクラブの設立と活動

インターアクトクラブとはロータリークラブより提唱された、12歳から18歳までの青少年または高校生による社会奉仕クラブです。学校や地域社会に奉仕をし、国際理解を推進するプロジェクトであり、国際感覚を持ったリーダーシップを身に着ける活動をします。令和4年8月2日に大阪南ロータリークラブから提唱していただき、興國高校インターアクトクラブが結成されました。令和6年度も理念に基づいて積極的な活動をいたしました。

- ② サッカー部がインターハイ初出場を果たしました。軟式野球部は53年ぶりに全国大会に出場すると、国民スポーツ大会にも出場し第3位となりました。ボクシング部は、7度目の全国大会総合優勝を達成しました。その他にも多くの運動クラブ（ゴルフ部・ソフトボール部・自転車競技部・ダンス部・卓球部）が全国大会に出場しました。選手強化のために学校が全面的にバックアップしており、今後も大いに活躍が期待されるところです。また、スポーツ留学生制度を設定し、選手獲



得もグローバル化しております。現在は、台湾（サッカー）・ケニア（陸上競技）・トンガ（ラグビー）・中国（サッカー）からの留学生が日本語を学びながらトップアスリートとして練習に励んでいます。

（９）進路保障の多様性とその充実（令和６年度卒業生）

特に大学進学では、２年連続で東京大学に合格し、京都大学には過去最多の４名が合格しました。その他、大阪大学などの難関国公立大学に計１４５名が合格いたしました。

（％は、全卒業者数比率）

項目	令和６年度	令和５年度	令和４年度
<b>四年制大学</b>	617 名（68.7%）	477 名（70.8%）	481 名（65.8%）
<b>短期大学</b>	12 名（1.3%）	5 名（0.73%）	3 名（0.4%）
<b>専門学校</b>	68 名（7.6%）	59 名（8.7%）	88 名（12%）
<b>就 職</b>	102 名（11.4%）	81 名（11.9%）	95 名（12.9%）
<b>浪人未定・その他</b>	99 名（11.1%）	45 名（6.6 %）	63 名（8.6 %）

※浪人未定の 99 名の大半は、留学準備もしくは志望大学への進学を希望しています。

・【各分野における進路先の具体例】（令和７年度入試結果）

＊四年制大学

**国公立大学・大学校**

（東京大学・京都大学・東京科学大学・和歌山県立医科大学（医）・旭川医科大学（医）・大阪大学・北海道大学・神戸大学・大阪公立大学・京都工芸繊維大学・滋賀大学・大阪教育大学・和歌山大学・滋賀県立大学・兵庫県立大学・北海道教育大学・北見工業大学・室蘭工業大学・秋田大学・山形大学・静岡大学・三重大学・富山大学・金沢大学・福井大学・岡山大学・広島大学・島根大学・徳島大学・鳴門教育大学・愛媛大学・高知大学・宮崎大学・釧路公立大学・会津大学・岡山県立大学・尾道市立大学・県立広島大学・下関市立大学・高知工科大学・名桜大学・防衛大学校・防衛医科大学校 他多数合格）

**私立大学**

（関西医科大学（医）・久留米大学（医）・近畿大学（医）・慶應義塾大学・早稲田大学・東京理科大学・青山学院大学・明治大学・法政大学・立教大学・学習院大学・同志社大学・立命館大学・関西学院大学・関西大学・近畿大学・龍谷大学・京都産業大学・甲南大学・摂南大学・桃山学院大学・追手門学院大学・神戸学院大学・駒澤大学・日本大学・東洋大学・拓殖大学・東京農業大学・佛教大学・大阪経済大学・大阪工業大学・大阪体育大学・大和大学・関西外国語大学・中京大学・大阪学院大学・大阪国際大学・大阪産業大学・大阪商業大学・大阪電気通信大学・阪南大学・天理大学 他多数合格）

＊短期大学 （関西外国語大学短期大学部・大阪芸術大学短期大学部・近畿大学短期大学部 他）

＊専門学校 （大阪法律・辻調理師・大原簿記法律・修成建設・阪和鳳自動車工業 他）

＊就 職 （西日本旅客鉄道㈱・東海旅客鉄道㈱・阪神電気鉄道㈱・近畿日本鉄道㈱・アート引越センター㈱・きんでん㈱・トヨタ自動車㈱ 他）

＊公 務 員 〔国家公務員〕：国家一般職・海上保安官・刑務官・入国警備官・税務職員

〔地方公務員〕：大阪府警察行政・大阪市職員・東京消防庁・大阪市消防局 他

〔特別職国家公務員〕：陸上自衛隊一般曹候補生・海上自衛隊一般曹候補生・航空学生 他

# (10) 学校評価について

毎年、全教職員から提出された自己評価並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に、管理職との個別面談を実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度提出された個々のシートを整理・集約したものです。

＜令和 6 年度 資質向上自己申告票のまとめ＞

〔単位：人〕

No.	項 目	評価 S	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	その他	小 計
①	校 務 分 掌	3	13	44	32	2	1	95
②	担 任 業 務	1	24	27	18	3	10	95
	副 担 任 業 務		1	8	3			
③	教 科 指 導	1	20	43	22	2	7	95
④	ク ラ ブ 活 動	3	14	36	29	5	8	95
小 計		8	72	158	104	10	26	380
評価分布状況	令和 6 年度	2.1%	18.9%	41.6%	27.4%	2.6%	6.8%	
	令和 5 年度	2.8%	23.8%	41.0%	23.3%	2.3%	7.0%	
	令和 4 年度	3.3%	20.7%	43.5%	22.0%	6.0%	4.6%	
	令和 3 年度	2.8%	19.9%	40.6%	25.0%	5.1%	6.5%	

## 《表の見方》

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価 S～D は、次のように 5 段階評価で分類します。

- ・評価 S：大幅に目標を上回っている。
- ・評価 A：少し目標を上回っている。
- ・評価 B：目標通り。
- ・評価 C：少し目標を下回っている。
- ・評価 D：大幅に目標を下回っている。
- ・その他：該当の業務分担がない教員の人数。

(ハ) 調査対象者は、専任教諭 65 名・常勤講師 30 名の計 95 名です。

## (二) 今後の改善点

### ①教職員の資質向上に向けて

- ・教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質の向上に役立てています。
- ・新しい取り組みのための研鑽や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・教育の実践に活かすために専門分野の方の講演会を定期的を実施しています。
- ・その他、新任教員の研修にも努めています。

### ②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・通学路や交通機関利用時並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底します。
- ・クラブ活動や興國寺子屋など課外活動への参加率向上を目指します。
- ・高大連携では、相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組みを進めます。
- ・大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受検の充実を図ります。
- ・全コースで学力向上を目指し、勉強合宿実施を進めていきます。

(11) そ の 他

①キャリアトライ幼児保育初等中等教育コース（C T保コース）では、昨年度に引き続き四天王寺夕陽丘保育園より実習の機会を提供して頂き、保育現場での実習を行うことができました。

・夕涼み会	令和5年 8月24日	於：四天王寺夕陽丘保育園
・文化祭	令和6年10月24日	於：興國高等学校

②文化祭は、昨年度に引き続き、3年生に飲食模擬店を実施してもらいました。ITB ストアー・近隣の飲食店9店舗やキッチンカー・PTAによるママのカレー・ミランダ先生のジミーズキッチンなど、昨年度よりも5店舗多い全28店舗の飲食店となりました。2年生はゲームコーナー、1年生は教室展示を中心に実施しました。CT キッズコーナーでは、ご近隣の幼児・小学生にも楽しんでもらい、本来の文化祭の雰囲気を取り戻しました。

本年度新たな企画として、プレゼンカラオケコンテストを開催。英語プレゼンテーションとカラオケを通じて、生徒たちは英語を実際に使い、発表や歌唱を行なうことで、英語力を実践的に高める機会となりました。学年企画も実施し、生徒主導で企画運営を進め、大盛況でした。

今年も、KOKOKU 寺子屋でお世話になっている西日本ヘアメイク様の協力の下、本格的なミスコンを開催いたしました。チャリティー企画として、5年ぶりに24時間ラン&ウォークを復活させました。今年度の総走行距離385kmに基づき、385円を一口として、皆様から支援金を募らせていただきました。11月末に、硬式野球部が能登半島地震で被災した地域でのボランティア活動に参加し、その際に募金活動で集まった50万円を輪島市へ寄付しました。また、日本赤十字社からの協力要請を受けて、本校のインターアクトクラブの全面的な協力のもと献血を実施しました。生徒、教職員を合わせて50名の協力を得ることができました。互いに支え合いながら生活するこの重要性を理解し、献血の協力を通じて、生徒のチャリティーへの意識を高めることができました。

③年初始動式は、クラブの活躍と発展を祈念して、全クラブ代表生徒とPTA役員、教職員が久保神社に参拝後、アリーナにて各クラブの代表生徒から力強い決意表明の発表をしました。運動部員・文化部員に併せてAD補習参加者や教職員も参加して餅つきを行ったことで、今年一年頑張るぞ！と活気溢れる様子が伺えました。自分たちで搗いた餅をPTAの保護者の方々に食べやすい大きさにカットして頂き、自分で好きな味付けやトッピングをして食べました。久保神社をクラブ毎に参拝し、お年賀として鳴門屋の1300セットのパンを参加した生徒・教職員に配布しました。

④生徒の健康や安全教育の一環として、1年生の4月以降に体育の授業において救急救命講習を開き、心肺蘇生法（CPR）やAEDの使用方法について技術の習得を図るとともに、緊急時の対応ができる教育を実施しました。また、アスリートアドバンスコースでは、2・3年生全員に春と秋の2回救急救命講習を受講させて、命の尊さを理解させました。

⑤大阪商業大学・大阪電気通信大学との高大連携講座で単位を認めていただいております。

今後の進路指導として、国公立大学も含めた各大学との高大連携を進展させます。大阪工業大学や桃山学院大学、大阪商業大学、大阪電気通信大学など、多数の大学と連携を図ることで、単位認定や医療系、理工系の大学とも交流を深めるとともに、大学からの出前講義やガイダンスを通じて、自分の進むべき進路を一人ひとりが考え、その目標を達成できる道筋をつけることを目標とします。そして、将来は様々な分野で牽引できる人材の育成に努めて参りたいと考えています。